

自分の成長を実感した10年間

PES旧友 井上 久美子氏



創立50周年 おめでとうございます。

私が退職してから既に四半世紀以上の時が過ぎ、当時のことを思い出すこともあまりありませんでしたが、この度このような機会を頂き、色々振り返ってみました。

私が入社したのは昭和55年で退社したのは、長男を出産する直前の平成2年7月に一旦産休を頂いて、出産後は自宅でできる仕事をFAXでやり取りをしながらしばらく続けた後のことだったと思います（正確な時期は覚えていませんが）。在職期間はトータルで10年余りですので50年の歴史から比べたらほんの一部でしかありません。

入社して最初は主に春日井教育センターの業務を行っていました。普段は入居者の住民や貸教室の事務管理などと経理事務を行っていましたが、夏休みには小中学生を連れて米国デルフィアンスクールへの短期留学の付き添いで3週間ほど滞在したこともありました。

私自身、外国語学部出身ではありましたが、それまで海外に出かけたことは一度もなく、全く初めての経験だったにもかかわらず子供たちを引率しないといけない立場でしたので、ものすごく緊張していたことを覚えています。ベテランのコーディネーターの方に同行して頂いていたおかげで、何とか無事任務を終えることが出来、大変貴重な経験をすることが出来ました。

その後、徐々に設計事務所の仕事に重点が移っていきました。当時はまだ手描きの図面でしたので、筆圧の強さを買われての仕様書の文字書きや見積書の計算、建築については全くの素人だったにもかかわらずトレースなどもやらせてもらいました。名古屋港ガーデンふ頭のポートビルは最近でも朝のニュース番組のエンディングで情報カメラの映像に映し出されるのを時々目にするのもあって、今でも記憶に残っており、PESで設備設計をやったんだな、と感慨にふけてしまいます。

改めてこの間の10年を振り返ってみると、秘書、経理、指名願、契約事務、製図など、様々な業務に従事して来ました。定例の早朝会議のために始発電車に乗るため冬は夜明け前、星の瞬く真っ暗な時間に駅まで自転車をこいで通った日も、忙しい時には遅くまで仕事をして終電で帰ったり、月に2日しか休めない時もありました。ただ目の前の仕事を淡々とこなす日々でしたが、会社にいることが楽しく、自分がどんどん成長していけるのが嬉しいと思える時期だったと思います。

先日、実際には10年ほどしか在籍していないのに、何十年もいたかのように言っていただき、それなりに存在感を残すことが出来ていたのであれば良かったなと思います。

ひとくちに50年と言っても膨大な、一日一日の積み重ねの結果であり、その間 IT などの技術革新も目覚ましく当時とは仕事のやり方も内容も大きく変化を遂げた時代であったと思います。そんな中、晴れてこの日を迎えられたことは本当に凄いことだと感服いたします。それは私のようなOGにとっても誇らしい出来事だと思います。

まだまだ、PESは60周年を目指してこれからも活躍を続けていかれるであろうことを楽しみにしつつ、ペンを置きたいと思います。

先ずは区切りの50周年、本当におめでとうございます。